

【各試合の結果・詳細】

第1試合
B組

箕島ホッケークラブ 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$ 1 RIVERSOUL岐阜

勝点 3
1 勝 0 分 1 敗

勝点 3
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

箕島 :
RS岐阜 : 21分#16竹田

<戦評>

肌寒さを感じる中、箕島ホッケークラブのセンターパスにより試合が開始される。試合開始早々、先制点を狙うRIVERSOUL岐阜のPCは、惜しくもゴールネットを揺らすことができない。一方、箕島ホッケークラブは細かいパスを繋ぎRIVERSOUL岐阜のDF陣を脅かすものの、得点に繋ぐことができない。試合が動いたのは21分、相手のミスからチャンスを得たRIVERSOUL岐阜は、#16竹田が確実に決め1-0とする。負けじと箕島ホッケークラブも連続してPCを得るが、RIVERSOUL岐阜GK#18佐藤のファインセーブに阻まれ決めることができず、前半を1-0とし折り返す。

後半、追いつきたい箕島ホッケークラブは46分PCを得るものの、RIVERSOUL岐阜の堅いDF陣によりチャンスをもたにすることができない。追加点を狙うRIVERSOUL岐阜は51分、カウンターからPCを取得するが決めきることができない。両チームとも果敢に攻めるも決めきることができないまま、1-0でRIVERSOUL岐阜が勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	大野隆司	馬場治男
アンパイア	近藤聡史	木下英貴
S. アンパイア	我妻順子	成田健一

第2試合
A組

東京農業大学 1 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$ 5 天理大学

勝点 0
0 勝 0 分 2 敗

勝点 3
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

東農大 : 41分#26岩崎
天理大 : 5分#14膳棚、23分#4松村、54分#6三谷、56分#12星、70分#2大野

<戦評>

天理大学のセンターパスにより試合が開始される。両チーム果敢に攻める中、5分天理大学#14膳棚がPCのチャンスを確実に決め先制点を挙げる。追いつきたい東農大は、19分PCを獲得するもチャンスをもたにすることができない。東農大の隙をついて攻め上がる天理大学は、20分PCから#4松村が落ち着いて決め2-0とし前半を折り返す。

後半開始41分、追いつきたい東農大は#26岩崎が相手GKのクリアミスを実にヒットシュートで決め1-2とする。一方、天理大学は54分#6三谷がシュートを決め3-1と東農大を突き放す。続いて56分、勢いを増した天理大学は#12星が追加点を挙げ4-1とする。さらに試合終了間際70分、天理大学はPCのチャンスを得ると#2大野が豪快なフリックで追加点を挙げ5-1とし天理大学が勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	鈴木靖弘	北島学
アンパイア	児玉茂樹	渡邊道彦
S. アンパイア	平尾豊	戸塚洋介

第3試合
B組

立命館大学 2 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

勝点 6
2 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 2 敗

<得点>

立命館大 : 50分#28田中、55分#28田中

東海学院大 : 68分#11寺田

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより試合が開始される。立命館大学は勢いのあるプレーで攻め上がり、PCを獲得するも決めきることにはできない。激しい攻防が続く中、両チームともに積極的なプレーを見せるものの、両DF陣の堅守により阻まれ無得点のまま前半を折り返す。

後半開始早々の38分、先制点を挙げたい立命館大学はPCのチャンスを得るも、東海学院大学GK#12千原のファインセーブにより決めきることができない。負けじと東海学院大学も、カウンターからチャンスを作るも得点には至らない。試合が動いたのは50分立命館大学は猛攻を仕掛け、#28田中がリバウンドを確実に押し込み先制点を挙げる。続く55分、立命館大学#28田中がゴール前の混戦からシュートを決め2-0と東海学院大学を突き放す。追いつきたい東海学院大学は、果敢に攻め上がり68分PCのチャンスをも#11寺田が確実に決め勢いを増す。追加点がほしい東海学院大学は積極的にゴールを狙うも得点を挙げることはできず、そのまま試合が終了し2-1で立命館大学が勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	大野隆司	馬場治男
アンパイア	富山喜正	成田健一
S. アンパイア	我妻順子	木下英貴

第4試合
A組

名古屋フラーテル困ッケーチーム 5 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 5 & -2 \end{pmatrix}$ 2 Selrio島根

勝点 6
2 勝 0 分 0 敗

勝点 3
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

名古屋F : 48分#11川上、53分#14長澤、58分#3粥川、61分#7猿養、69分#12坪内

S島根 : 39分#13加納、63分#19糸原

<戦評>

名古屋フラーテルのセンターパスにより試合が開始される。試合開始早々から、激しい攻防が繰り広げられる。両チームともに果敢に攻めるものの、チャンスをもにすることができない。一進一退の試合が続く中、無得点のまま前半を折り返す。

後半、先制点を挙げたいSelrio島根は、39分にPCを得ると#13加納がリバウンドを確実に決め1-0とする。追いつきたい名古屋フラーテルは、48分パスで相手DF陣を崩し#11川上が得点を決め勢いを増す。続く53分、名古屋フラーテルのPCは#14長澤が決め追加点を得る。さらに58分にPCで#3粥川、61分には#7猿養がFGで決めSelrio島根を突き放す。負けじとSelrio島根は攻め上がり63分#19糸原が決め、1点を返す。両者ともに激しい攻防が続く中、69分名古屋フラーテルの#12坪内が追加点をあげ、5-2で名古屋フラーテルが勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	鈴木靖弘	北島学
アンパイア	宮川敏充	戸塚洋介
S. アンパイア	平尾豊	児玉茂樹